



アダプト通信

VOL.18

アダプトとは…

英語で「養子縁組をする」という意味。住民や企業などが主体となって清掃・緑化などの美化活動を中心に公共空間を「わが子のように面倒を見る」手法として制度化されたものです。

NPO 法人ひろしまアダプトは、広島県内の道路・河川等あらゆる土木公共施設を対象としたアダプト活動を支援し、行政機関との連携を図りながら、行政と住民・民間団体の協働による公共施設の適切な保全及び環境保全並びに公共施設の愛護機運の促進等を図るとともに、その活動を通して地域の活性化に寄与することを目的として、提案や活動を行っています

2017年3月23日発行 第18号
発行/NPO法人ひろしまアダプト
広島市中区紙屋町1丁目1-17
TEL (082)240-0768 FAX (082)248-7565
http://www.hiroshima-adopt.com



広島県のご協力、中国新聞社のご後援のもと、青少年活動コンテストを開催しました。次世代の若者会員を増やし、アダプト活動の精神を未来に繋げたいという思いでスタートした会で、今年で5回目となります。当日は東広島市や広島市・福山市から7団体に参加。コンテストの最後には、活動団体に対する表彰式も行われました。

広島県との包括連携協定に基づく官民協働事業の「青少年アダプト活動支援」として株式会社イズミ様に「協賛、さらに公益社団法人食品容器環境美化協会の特別協賛、株式会社イズミ、みずえ緑地株式会社、一般社団法人サステナブル地域づくりセンター・HIROSHIMA、A、コカ・コーラウエスト株式会社、丸誠自動車株式会社、山陽工業株式会社、山陽建設株式会社、上垣組株式会社、藤井建設株式会社、住友生命保険相互会社、有限会社ハイトック、株式会社ガリバープロダクツのご協賛、広島

2017年2月18日(土)、広島県立総合体育館にて 2016年度アダプトフォーラムinひろしま 青少年活動コンテストが開催されました

ごあいさつ



広島県土木建築局道路河川管理課
城田俊彦 課長

普段より道路や河川など地域の美化活動に取り組んでいただき、深く感謝いたします。身近な活動からスタートすることで、地域と共に成長し、地域に愛着を持ち、地域の将来を担う大人になっていかれることを期待しています。



公益社団法人食品容器環境美化協会
松木瑠美 氏

私たちは飲料6団体で構成される、飲料容器のポイ捨て防止やまち美化をすすめる団体です。アダプト・プログラムの普及・推進や、環境学習支援、環境美化活動実践校の表彰を行っています。皆さんの活躍をうれしく思います。



NPO 法人ひろしまアダプト
丸山孝志 理事長

アダプト活動は、周囲の大人たちが子どもを導いてやれる大切な場です。またこの活動が、地域を元気にする交流の場にもなっていると思います。このコンテストが、今後も長く続き、活動を見聞きできることを期待しています。



最優秀校・協会会長賞を受賞した
福山市立中条小学校のみなさん

【活動状況】

“誰かじゃなくて ぼくがする わたしがする”を合言葉に、地域団体や市と連携しながら、さまざまな美化活動に励んでいます。近くを流れる堂々川では、堂々川ホタル同好会や市環境啓発課の指導のもと、ホタルの復活を願って水質調査を実施。採取した生き物から川の汚れ具合を毎年チェックしています。調査場所へ行く道中も、車道などにポイ捨てされた空き缶やペットボトルの回収を行います。また川土手の不法投棄やイノシシ対策として、地域住民が行っている彼岸花の球根を植栽する活動や古道の整備、商工会青年部主催の地域清掃活動「530(ごみゼロ)運動」にも参加するなど、自然や資源を大切にしたいという環境意識を高めています。

食品容器環境美化協会(食環協)は、ポイ捨て防止、散乱防止の啓発をしている公益社団法人です。飲料メーカー6団体(コカ・コーラ協会、(一社)全国清涼飲料工業会、(一社)全国トマト工業会、(一社)日本果汁協会、日本コーヒー飲料協会、ビール酒造組合)で構成されています。食環協は主要事業としてアダプト・プログラムの普及推進や環境学習支援を行っております。環境

学習支援の一貫として、平成12年より環境美化教育優良校等表彰を実施し、環境美化教育に独創的、継続的に取り組み、公共の場所の美化、飲料空き容器などのリサイクルを実践している小学校などを、都道府県の推薦に基づき表彰しています。今回は40の都道府県から40の推薦があり、審査委員による厳正な審査の結果、広島県から福山市立中条小学校が最優秀校・協会会長賞に選ばれました。

公益社団法人 食品容器環境美化協会

福山市立中条小学校が 最優秀校・協会会長賞を受賞

江田島市からのお知らせ

アダプト活動 団体募集!

江田島市では、現在子どもから大人まで市内各地の42団体の方々が、清掃や草刈等の活動を行っています。これからも、より多くの皆さんの参加をお待ちしております。

江田島市アダプト制度とは?

江田島市が管理している道路などで、学校や企業、地域の皆さんに清掃や緑化等の活動を行っていただき、江田島市がそれを支援する制度

団体登録の要件は?

- 地域住民や地域の企業などにより、5名以上で構成されていること
- 100m以上の区間で、年3回以上実施される活動であること
- 活動が営利目的で行われるものでないこと など

どんな支援を受けられる?

- アダプト活動に係る関係保険の加入
- アダプト活動に対する奨励金の交付
- アダプトサイン(表示板)の設置

お問合せ先 江田島市土木建築部建設課管理用地係
(TEL 0823-43-1646)

広島県からのお知らせ

アダプト情報サイトについて

広島県ホームページの中に「アダプト制度情報サイト」を設けています。広島県ホームページのトップページから「まちづくり地域振興」をクリックし、「アダプト制度情報サイト」のバナーをクリックしてください。

こんなことが
調べられます

- ・アダプト新着情報
- ・アダプトとは?
- ・広島県アダプト制度(広島県アダプト制度のしくみ、広島県アダプト制度認定申込の手続き、広島県アダプト制度お問合せ窓口、広島県アダプト制度に関する質疑応答集)
- ・アダプト活動支援組織ご紹介(NPO 法人ひろしまアダプト HP)
- ・マスコットキャラクター「アダピィ」(「アダピィ」紹介【使用承認基準ができました】)
- ・広島県アダプト活動認定団体一覧(マイロード団体一覧、ラブリバー団体一覧)
- ・県内市町の制度ご紹介(県内市町の制度)

お問合せ先 広島県道路河川管理課
(TEL 082-513-3923)



**みんなで考え、
交流しながら活動の幅を広げているで賞**

JR可部線を利用して通学する生徒が多かった平成4年ごろ、地域の方から「一部の生徒が加計駅前のトイレを汚している」という声がありました。それをきっかけに生徒会執行部が呼びかけ、加計駅前のトイレや周辺道路などの清掃活動を始めました。平成11年8月10日に広島県道里親制度がスタートすると、加計高校は最初のモデル団

広島県立加計高等学校



体として広島県から認定を受けました。現在加計高校生徒会は、毎月第3木曜日の放課後に、通学路・旧加計駅駐車場・公園などを清掃しています。この活動には全校生徒の約半数が参加し、山県警察署や加計小学校、地域の方にもご協力いただいています。また地域の緑化推進活動として、花いっぱい運動も行っています。

**一人一人の花の鉢が
まちを美しく彩っているで賞**

千代田高校は、広島県アダプト活動の認定を受けて2年目になります。年間を通じて行っているのが、国道261号線の清掃と草抜きです。活動範囲は、千代田高校の入り口までの約1200m。放課後に希望者が集まることになっていますが、毎回全校生徒の3分の1以上・約60人が参加します。国道261号線はゴミよりも雑草が多いため、草抜き

広島県立千代田高等学校



が中心の活動となります。また、全校生徒で「花を植えよう！そして町内を花いっぱいにしていこう！」をテーマに、一人一鉢のプランターに花の苗を植え、全校生徒153名分を千代田地域の約70カ所に配布しました。千代田地域では7年前から、小学生・中学生・高校生と地域の方と合同で、一斉ボランティア清掃活動を行っています。

**忘れられていた川を
熱い思いでよみがえらせているで賞**

私たちは昨年9月、次世代型の環境都市づくりに関する健全な提言を行うことを目的に半尾川再生まちづくり倶楽部を結成しました。私たちの特徴は、広島大学の教員や学生、郷土史に詳しい市民や建築士グループなど、多彩な会員構成にあります。環境に配慮したハード整備の検討など、政策提言活動への意識は高いです。昨年12月には広島大学環境サークル「えこ・べ

半尾川再生まちづくり倶楽部



ーじ」と共同で清掃活動を行いました。学生グループや市役所職員、環境団体や住民自治協議会など52名が参加し脚光を浴びました。この活動には、「忘れられようとしている川の再生を通じた物語」が生まれる可能性を秘めています。大学生が関わるイベントを展開しやすいという学園都市ならではの強みをいかし、注目される空間づくりをめざしたいと思っています。

**地域への感謝を忘れず、
美しい自然を守っているで賞**

全校生徒が152名の江田島中学校では、ほぼ全校生徒がアダプト活動に参加しています。主な活動は、年6回以上のゴミ拾いや清掃。溝のゴミとり、草刈りなど学校周辺の掃除、夏休みには小学生や高校生と合同で、海辺に落ちているゴミを拾います。ゴミ拾いは一人で行うと楽しく、すぐに終

江田島市立江田島中学校



わります。他校の人たちと合同作業をすることで、交流が活発になるといってリットもあります。これから入学してくる小学生に、中学生として良い手本を見せることができたと思っています。アダプト活動を通して、町の良さや交流の大切さを学びました。これからも地域に愛情を持ち、故郷を大切に思う気持ちを忘れないようにしたいです。



青少年活動コンテスト発表内容紹介

**花いっぱいのもちを
みんなで楽しくつくっているで賞**

造賀を愛する会は、その名前の通り「ふるさと造賀」を愛する仲間の会です。どんな行事でも地域の子どもたちを中心に据え、「楽しく元気に」をモットーに取り組んでいます。春には子どもたちと一緒に里山美化清掃を行い、それに併せて山菜採りや自然の中の山菜料理教室を開きます。ホタルが乱舞する季節になれば、ホタル籠を作り、

造賀を愛する会



ホタル探検にかけます。秋には住吉神社のお祭り、冬には地域の山へ冬登山を楽しみます。地域にある「すみよし花壇」は、子どもたちと一緒に整備を行い、四季折々の花を楽しんでいます。これまで築き上げた地域愛を将来に向けて傳承し、「ファミリー造賀」として、まとまりのある住み良いまちにしていく活動を進めて行きます。

**海も川も道もふるさとクリーンに
がんばっているで賞**

永田川カエル倶楽部は、永田川・市道鹿川20号線・国道487号線・市道鹿川5岡大王線・鹿川湾の干潟・真道山林道・野登呂山林道・鎌木海岸の計8カ所で、ゴミ拾いなどを行っています。市道20号線や国道487号から永田川へのポイ捨てゴミは、10年前に比べ半減しています。活動の効果によるものと思われま。毎月の清掃活動に加え、水質調査や草刈

永田川カエル倶楽部



り、ホタル観察会や水生生物調査も行っています。活動費には、さまざまな助成金を当てています。今年3月には水環境学会から「水環境文化賞」を受賞する予定です。この3月で10人が卒業しますが、昨年末に口コミで新規加入者がありました。2030年までに体験者を200人にし、活動を牽引する後継者の育成が今後の目標です。

**自分たちの町は自分たちの力で、
を合言葉に530(ごみゼロ)に挑戦しているで賞**

中条小学校では「中条環境プロジェクト」として、四つの取り組みをしています。一つ目は「一斉清掃下校」の取り組み。一斉下校や遠足・校外学習の際、ゴミ拾いをしながら地域を清掃します。二つ目は「堂々川の水质調査」です。地域を流れる堂々川の水质調査を行い、生き物を採取して川の汚れ具合を調べています。三つ目は「地域の環

福山市立中条小学校



境を守るための活動」です。地域の自然を守るうと環境標語やポスターを作り、地域の方と一緒に設置します。四つ目は「環境学習の交流」で、今年度も内浦小学校と一緒に行いました。今後も「自分たちの地域を守るために、自分たちの住んでいる地域を自分たちできれいにしよう」という気持ちで、清掃活動や緑化活動を継続します。

7団体の活動発表の後、丸山理事長より「活動の前に、自分たちがどんな活動を、いつ、どのように行うかを行政や地域の人たちに呼びかけましょう」「活動に参加する一人ひとりが自分で考え、工夫してみましょう」「自分たちだけでなく、地域の人や行政にも喜ばれ、感謝される工夫をしましょう。活動目的や進め方を、事前に行政とよく話し合っておくことが大切です」「活動の後は悪かった反省より良かったことを振り返り、自分や自分たちをほめましょう」という具体的なアドバイスをいただきました。



NPO法人ひろしまアダプトは、皆さんの活動が皆さん自身を変え、皆さんの仲間を変え、地域を変え、社会を変えてくれることを期待しています。これからも楽しく頑張ってください。